



広渡川水系流域治水プロジェクト

広渡川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、広渡川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



広渡川水系

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- 河川改修、堤防強化、井堰改築、河道掘削、樹木伐採、排水機場の改修、用排水路整備 等

【流水の貯留機能の拡大】

- 治水ダムにおける事前放流の実施、ダム貯水池内の堆積土砂浚渫 等

【土砂災害対策】

- 砂防堰堤の整備 等

【森林の整備・保全、治山施設の整備】

- 保水機能を発揮できる森林整備の推進
- 治山施設整備による土砂流出抑制対策

【内水氾濫対策】

- 用排水路の整備、補修、更新 等
- 樋門施設の維持、機能向上

■ 被害対象を減少させるための対策

※今後、関係機関と連携し、対策検討

■ グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【リスク情報の提供・充実】

- ICTを活用した情報提供の強化 等
- 洪水浸水想定区域図の作成・データ提供 等
- 農業用ため池マップの周知 等
- 土砂災害警戒区域等の指定・公表 等
- マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
- 水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供 等

【防災・避難体制の強化】

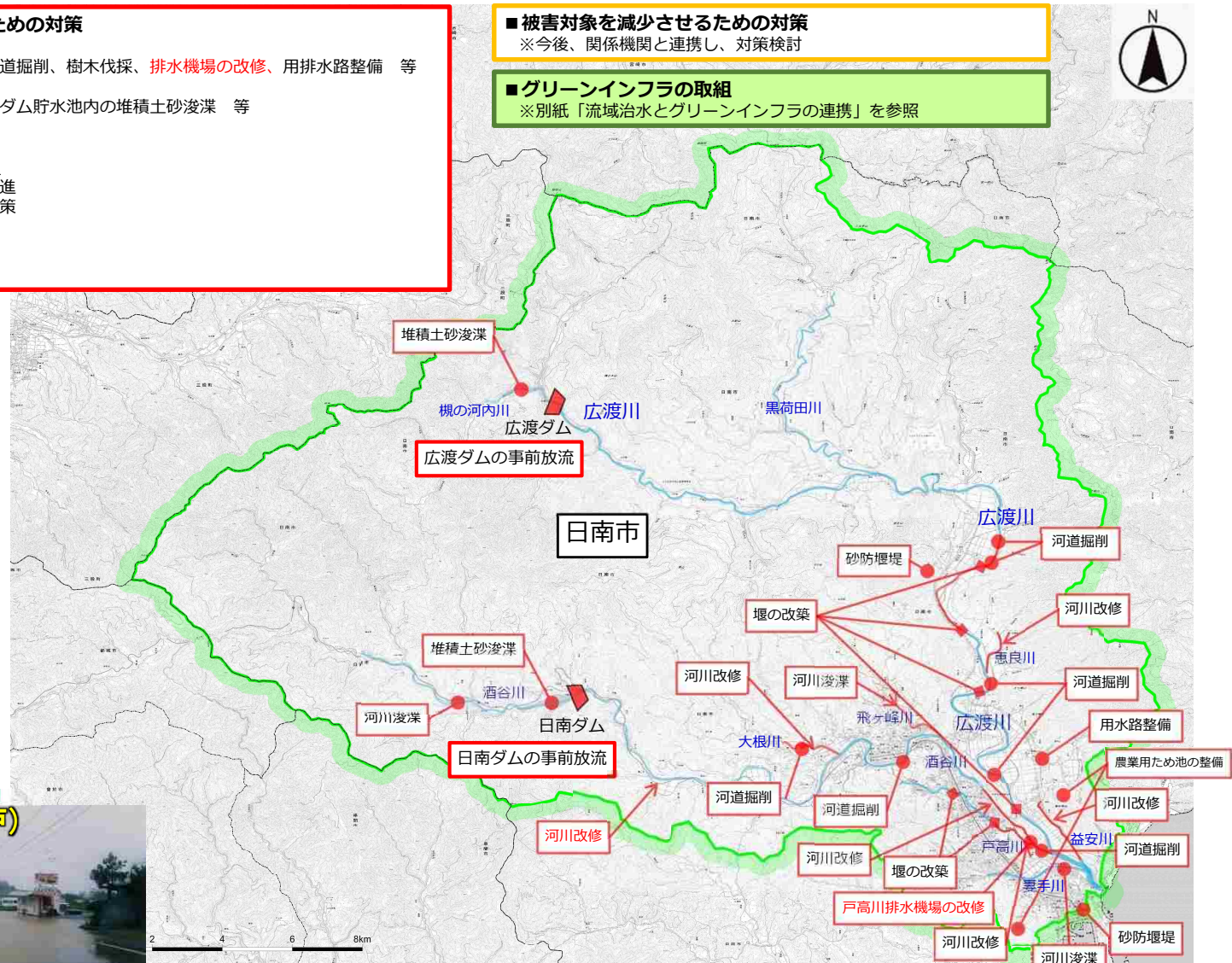
- ホットライン・タイムラインによる関係機関の連携強化 等
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援 等
- 防災の日、防災週間における防災啓発 等
- 風水害を想定した総合防災訓練 等
- 日南地区防災会議の連携強化や実施訓練
- 自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成 等

【防災学習・啓発の推進】

- ハザードマップを活用した具体的な防災訓練 等
- 土砂災害防止教室の実施 等
- eラーニングによる水防災教育の推進 等
- 防災士の養成及び出前講座の実施 等

【早期復旧・復興への備え】

- 樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証 等
- 水防活動、啓開、復旧に必要な資機材の確保、強化 等
- 公共施設、ライフラインの防災機能の向上 等



広渡川(殿所地区)

酒谷川(山瀬地区)

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf149】

広渡川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

●広渡川では、本支川の流域全体を国、県、日南市が一体となって、以下の手順で「流域治水プロジェクト」を推進する。

- 【短期】 広渡川流域において、河道掘削や樹木伐採を集中的に実施し、河道の流下能力の向上を図る。また、築堤や掘削などの河川改修や砂防堰堤の整備を進めるほか、防災意識の向上や情報提供の強化を図り、流域内の被害軽減を目指す。
- 【中期】 堤防の強化や堰の改修等によってさらなる治水安全度の向上を図るとともに、森林整備による上流域の保水機能の向上や用排水路の整備による下流域の排水機能強化を図り、流域全体での水防災への取組を強化する。
- 【中長期】 河川区域においては、河川改修や維持管理を計画的に実施して氾濫を防止するとともに、集水域、氾濫域においてはそれぞれが持つ役割やリスクを把握して、官民一体となった流域治水への取組を推進する。

■ 河川対策 (約 89 億円)
 ■ 砂防対策 (約 4 億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河川改修、堤防強化、築堤等 河道掘削、樹木伐採、 堆積土砂浚渫等	井堰改築 排水機場の改修 用排水路整備	
	流水の貯留機能の拡大	宮崎県		治水ダムにおける事前放流の実施 ダム貯水池内の堆積土砂浚渫等 農業用ため池の整備	
	土砂災害対策	宮崎県		砂防堰堤の整備等 砂防施設の老朽化対策	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎南部森林管理署、宮崎県、 森林整備センター		保水機能を発揮できる森林整備の推進 治山施設整備による土砂流出抑制対策	
	内水氾濫対策	宮崎県、日南市		用排水路の整備、補修、更新等 横門施設の維持、機能向上	
被害対象を減少させるための対策	今後、関係機関と連携し、対策検討				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		ICTを活用した情報提供の強化等	
		宮崎県、日南市		洪水浸水想定区域図の作成・データ提供等	
		宮崎県、日南市		農業用ため池マップの周知等	
		宮崎県、日南市		土砂災害警戒区域等の指定・公表等	
		宮崎県、日南市		洪水ハザードマップの見直し、周知等	
	防災・避難体制の強化	宮崎県、日南市		マイ防災マップ、マイタイムラインづくりの推進等	
		宮崎県、日南市		水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供等	
		宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		ホットライン、タイムラインによる関係機関の連携強化等	
		宮崎県、日南市		要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・見直し、避難訓練の実施・支援等	
		宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		防災士の養成及び出前講座の実施等	
		宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		風水害を想定した総合防災訓練等	
		宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		日南地区防災会議の連携強化や実施訓練等	
	防災学習・啓発の推進	宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成等	
		宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		重要水防箇所の見直し等	
		宮崎県、日南市		ハザードマップを活用した具体的な防災訓練等	
宮崎地方気象台、宮崎県、日南市			土砂災害防止教室の実施等		
早期復旧・復興への備え	宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		eラーニングによる水防災教育の推進等		
	宮崎地方気象台、宮崎県、日南市		防災の日、防災週間における防災啓発等		
	宮崎県、日南市		施設の耐水化、非常用発電等の整備促進等		
	宮崎県、日南市		横門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県		生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出 河川景観の保全・創出	
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、日南市、宮崎南部森林管理署、 森林整備センター		湿地等の貴重な自然環境の保全 生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出	
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県、日南市		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持 水辺空間のレジャー等の利用	
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、日南市		公共施設、ライフラインの防災機能の向上等 小中学生や任意団体等による環境学習	

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

広渡川水系流域治水プロジェクト【取組状況】

令和4年度

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：17／17 ■取組率：100%



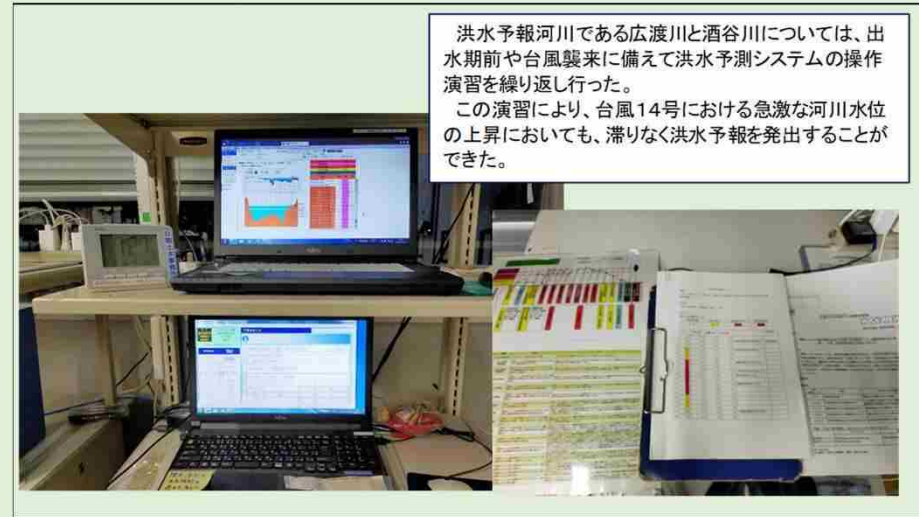
2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：0／— ■取組率：0%

※関係機関と連携し、対策検討中

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：85／85 ■取組率：100%



4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：15／15 ■取組率：100%



広渡川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

① 益安川 河道掘削・築堤・護岸工による氾濫対策

【宮崎県日南土木事務所】

- 広渡川水系の益安川では河川の断面が不足していることから、河道掘削・築堤・護岸工を実施することで流下能力の向上を図る。
- 流域内には人家や事業所などの資産が集中しており、河川が氾濫した際の浸水による損害が大きいことから、河川改修を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

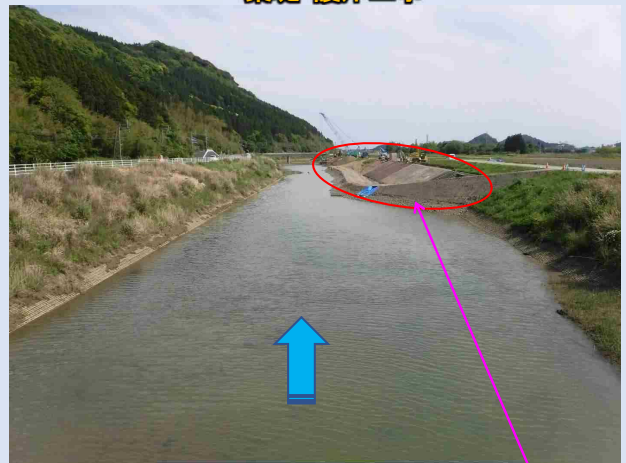
益安川施工状況写真

河道掘削・築堤



河道を掘削して流下能力を向上させます

築堤・護岸工事



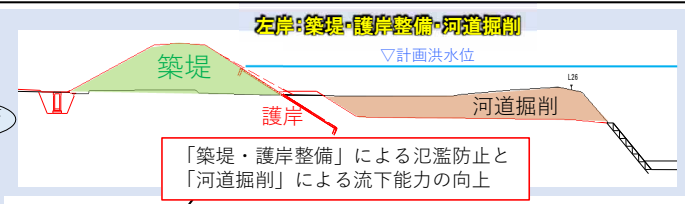
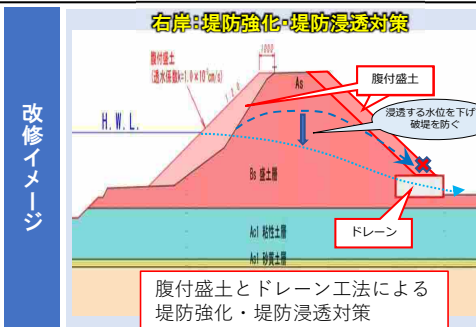
築堤と護岸工を行い、氾濫を防ぎます

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・築堤・護岸工	宮崎県	➡		

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

② 酒谷川 堤防強化・築堤による氾濫対策 【宮崎県日南土木事務所】

○酒谷川では、平成9年9月の台風19号により、床上浸水家屋138戸、浸水面積約17haの大規模な浸水被害が発生した。広渡川合流点からJR日南線までの4.2km区間について、堤防強化や築堤、護岸整備や河道掘削等を実施し、酒谷川周辺地域の安全性の向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堤防強化・堤防浸透対策 築堤・護岸整備・河道掘削	宮崎県	➔		

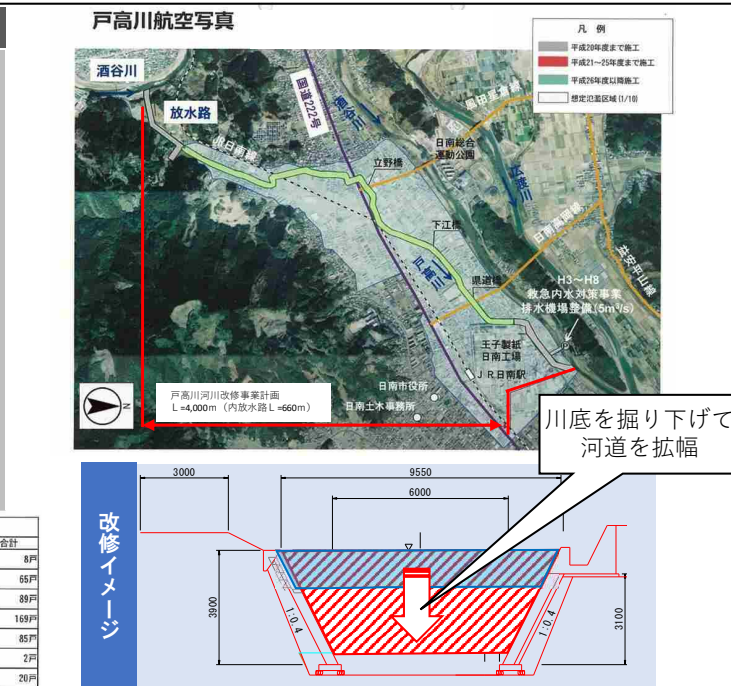
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

③ 戸高川 河川改修による浸水対策 【宮崎県日南土木事務所】

○戸高川では、河道が狭く、流下能力不足により浸水被害が発生している。
○戸高川周辺には人家や事業所などの多くの資産が集中しており、浸水被害による損害が大きいことから、護岸整備や河道掘削等を集中的に実施し、早期に周辺地域の安全性の向上を図る。



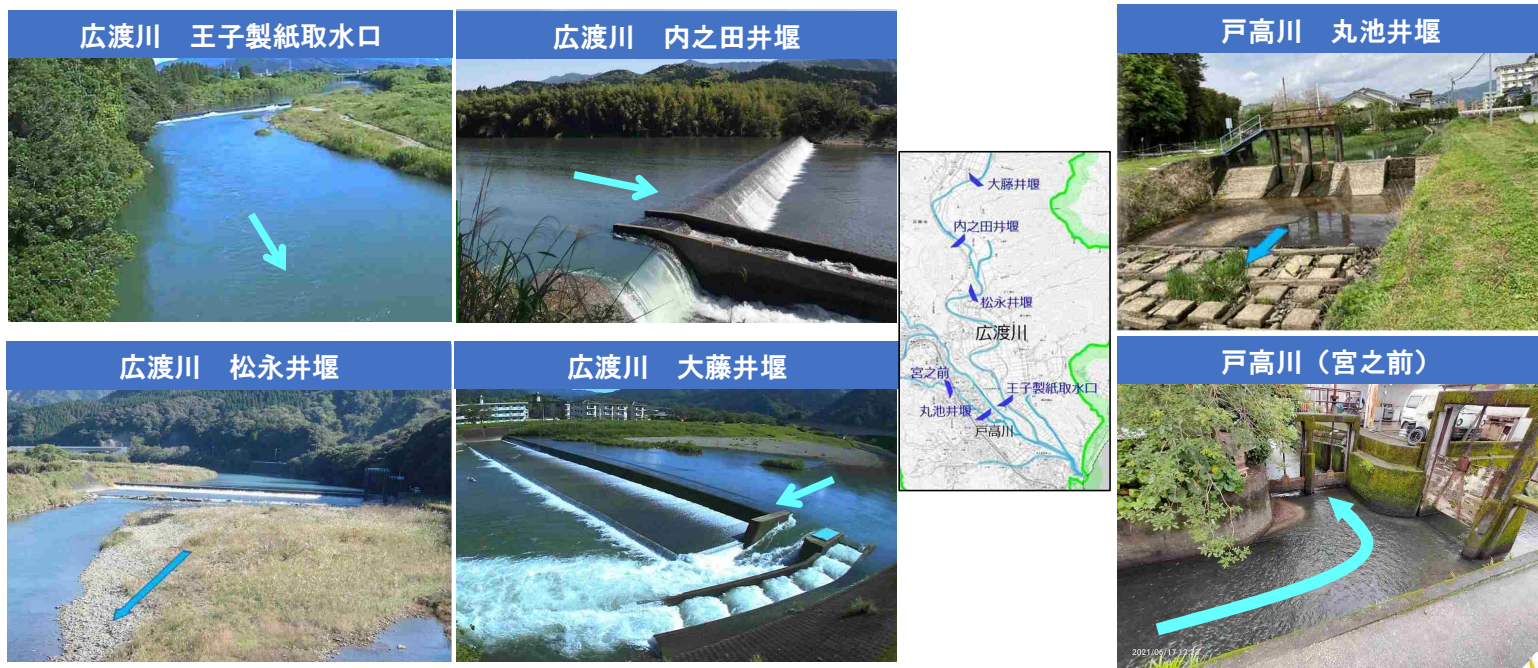
要因	雨量	浸水家屋数		
		床上	床下	合計
昭和46年8月	台風19号	0.1ha	0戸	8戸
昭和47年6~7月	豪雨	2ha	2戸	63戸
平成2年9月	台風19号、豪雨	16ha	3戸	89戸
平成2年9月	台風20号、豪雨	42ha	55戸	114戸
平成9年9月	台風19号	5.6ha	3戸	82戸
平成16年9月	台風16号	3.9ha	1戸	2戸
平成17年9月	台風14号	0.1ha	1戸	19戸



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川改修、堰改築	宮崎県	➔		

④ 広渡川水系の井堰改築による氾濫対策

○広渡川水系に設置されている井堰の改築を実施し、河道の流下能力を高め、水系全体の治水安全度の向上を図る。（※河川改修計画については、堰管理者との協議により今後変更になる可能性があります。）



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堰改築	宮崎県	▶		

⑤ 河道掘削・樹木伐採、堆積土砂浚渫

○樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や河道掘削を実施する。

【日南土木事務所管内】 令和4年度実施箇所

対象河川	工区名等
広渡川	松永工区 大藤工区 公園大橋工区 殿所工区
酒谷川	東光寺橋工区 鯛ノ子工区 鷹取工区
赤岩川	郷之原工区

河川内にある樹木の伐採や土砂の掘削を行い、流下能力を向上させる

広渡川【着手前】

広渡川【施工後】

水生生物に配慮し、樹木は一部残します

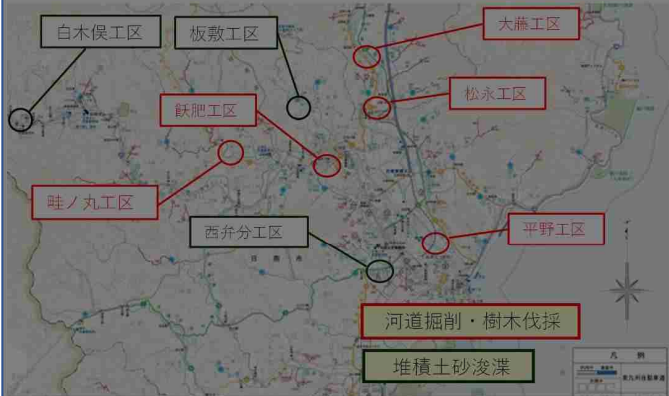
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・樹木伐採・堆積土砂浚渫	宮崎県	▶		

⑤ 河道掘削・樹木伐採、堆積土砂浚渫

○樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や河道掘削を実施する。

【日南土木事務所管内】

R3年度実施予定箇所



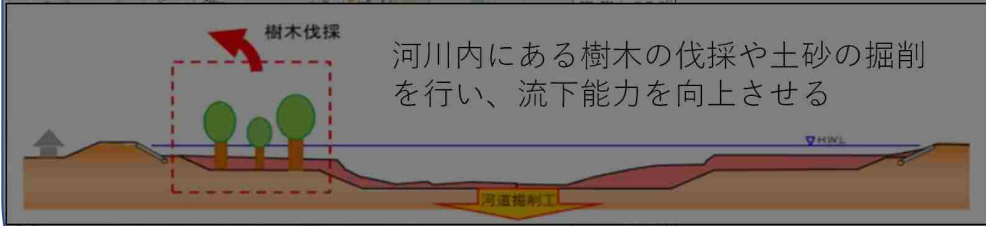
対象河川	工区名等
広渡川	松永工区 大藤工区
酒谷川	平野工区 鉢肥工区 白木俣工区
飛ヶ峯川	板敷工区
妻手川	西弁分工区
大根川	畦ノ丸工区

削 除

広渡川【着手前】



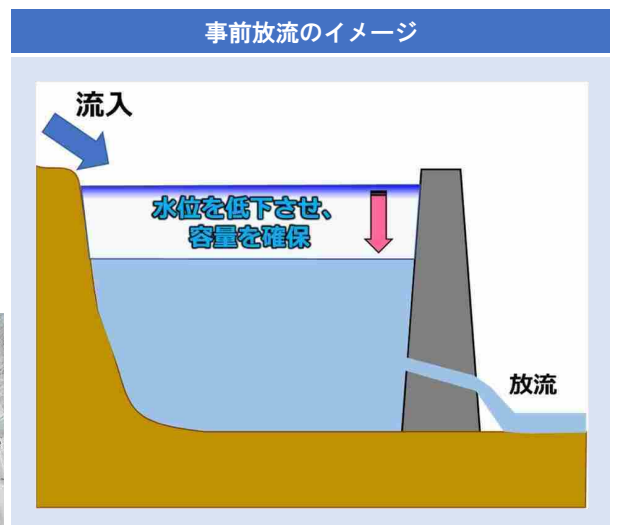
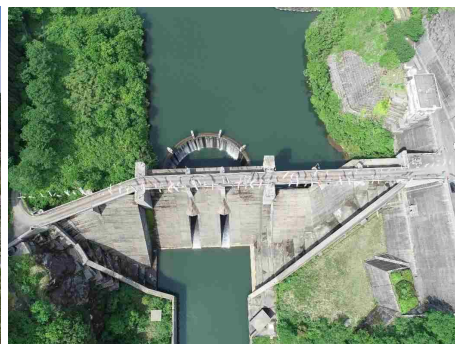
広渡川【施工中】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・樹木伐採・堆積土砂浚渫	宮崎県	▶		

⑥ 事前放流による貯留機能拡大

○広渡川の広渡ダムと酒谷川の日南ダムに貯めている水をあらかじめ放流して水位を下げ、近年頻発している大規模な洪水への対策に活用する。

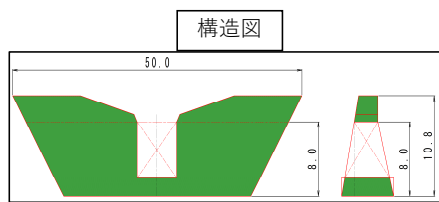


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	実施に向けた課題の整理・検討 治水ダムにおける事前放流の実施	宮崎県	▶		

⑦ いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進【宮崎県日南土木事務所】

○流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防堰堤の整備を実施する。

実施地区：広渡川水系無名沢川



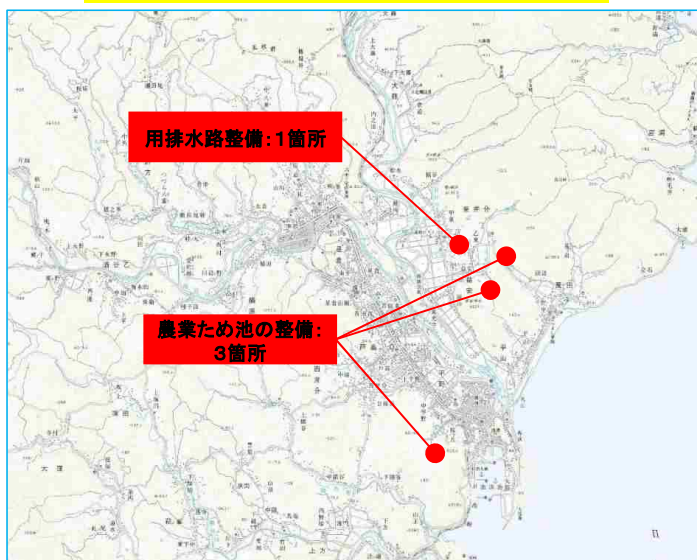
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	砂防堰堤整備	宮崎県	▶▶▶		

⑧ 農業農村整備事業による流域治水【宮崎県南那珂農林振興局】

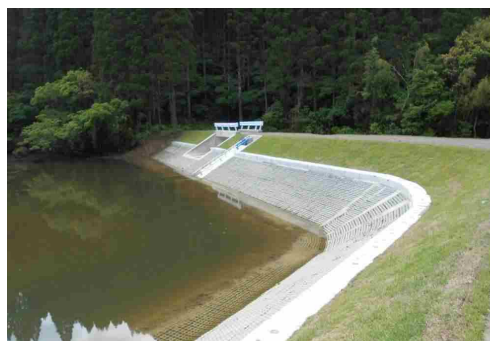
【農業農村整備事業を計画的に実施することで農業の多面的機能を発揮】

- 農業用ため池の改修や耐震化を図ることで**下流域の被害を軽減**
- 用排水路を整備することで山腹からの雨水をスムーズに排水し、**周辺地域の被害を軽減**

広渡川水系 農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名
農業用ため池の整備	35.0ha	野中、七迫、穴越
用排水路整備	207.0ha	東郷、東郷2期



農業用ため池の整備



用排水路の整備
(表面補修)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	用排水路整備	宮崎県	▶▶▶		
	流水の貯留機能の拡大	農業用ため池の整備		▶▶▶		

○ 河川上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策のため、再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等を進める。



【広渡川・市木川・福島川流域の森林の状況】

(日南市、串間市)
森林面積: 65,640ha
国有林: 28,868ha
民有林: 36,772ha

【広渡川・市木川・福島川流域の森林整備の実施状況】

(令和3年度)
再造林: 360ha 溪間工 2箇所
下刈り: 2,074ha 山腹工等 1箇所
除間伐: 97ha

【流域治水への事業効果等】

(保水機能効果)

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

(防災・減災効果)

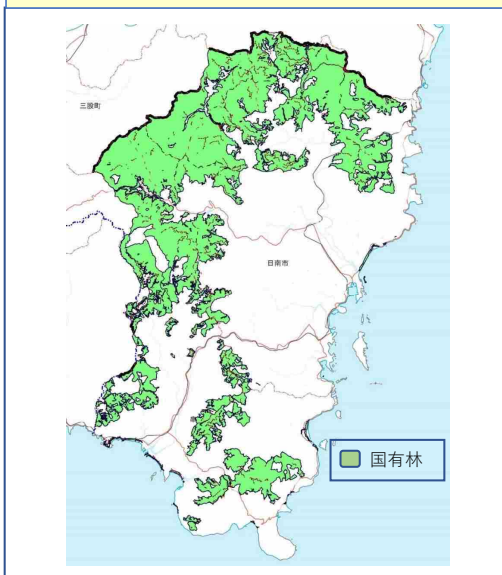
間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。
伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保全機能の低下を防止する。
治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備（再造林、下刈り、間伐等） 治山事業（治山ダム、山腹工等）	宮崎県	▶		

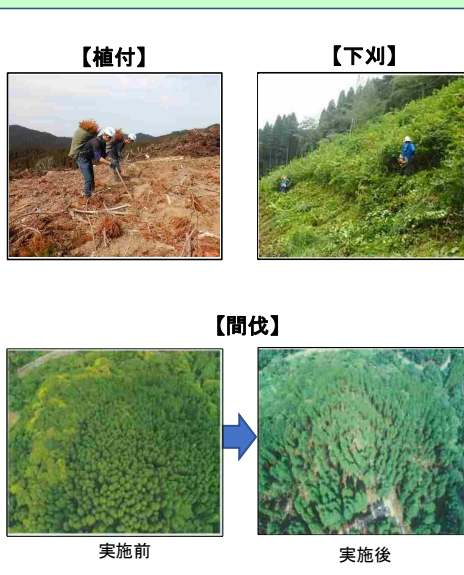
○ 日南・串間地区には、2.9万haの国有林が存在し、主に広渡川、福島川等の中・上流域に位置しており、山地災害防止機能や水源涵養機能等公益的機能の適切な発揮に向けた森林整備が重要。

○ 植林・間伐等の森林整備による災害に強い森林づくりや治山事業による土砂流出防止対策等を推進する。

日南・串間地区（広渡川、市木川、福島川等）の国有林の分布状況



間伐等の適切な森林整備による健全な森林づくりを実施



土砂の流出を防止する治山ダムの設置や崩壊地の復旧を実施



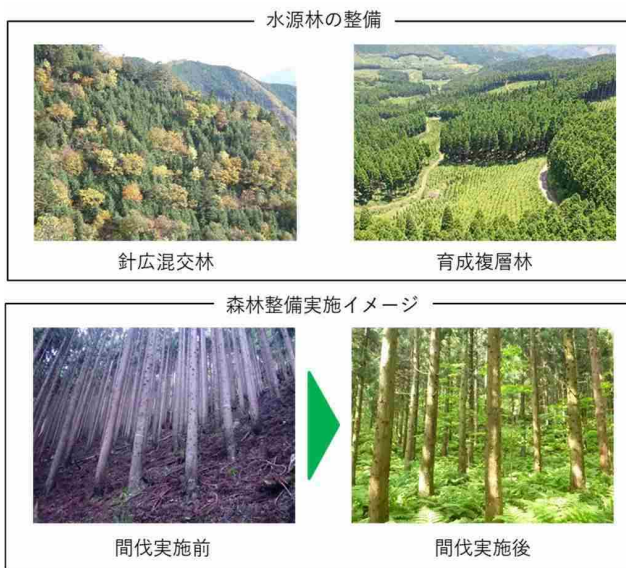
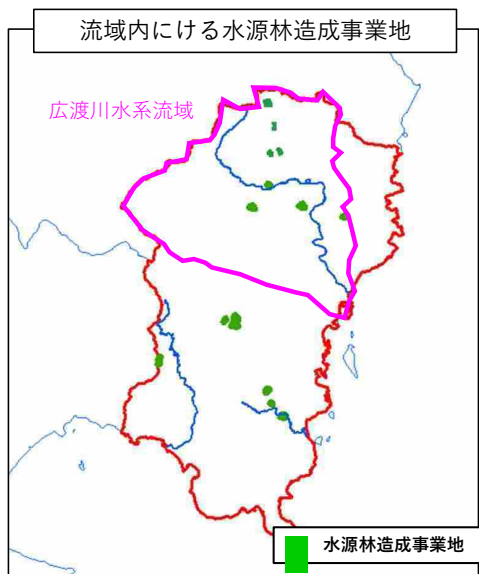
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	・森林整備事業（植付、下刈、間伐等） ・治山事業（溪間工、山腹工等）	宮崎南部森林管理署	▶		

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑪ 水源林造成事業による森林整備・保全対策

【森林研究・整備機構 森林整備センター】

○水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
○水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
○広渡川、市木川、福島川流域における水源林造成事業地は、14箇所（森林面積 約160ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	水源林造成事業	森林研究・整備機構 森林整備センター	▶		

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑫ 用排水路の整備による排水機能の向上

【日南市農村整備課】

○水路整備を行う事で、排水機能が向上し、周辺地域の被害軽減が図られる。
多面的機能支払交付金を活用し、活動組織の采配で農業用施設の補修・更新を行う。

着工前



完成



R3.4月時点

【市内組織の状況】

活動組織数 44組織
内平地部 19組織
内山間部 25組織

【水路整備実績】

全体 20箇所
内補修 4箇所
内更新 16箇所

【交付金内訳】

国：50%
県：25%
市：25%
地元：労力

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	内水氾濫対策	用排水路の補修や更新	日南市 活動組織	▶		

広渡川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

① ICTを活用した洪水警報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の提供【宮崎地方気象台】

○「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。

改善（イメージ）



■短期
「危険度分布」に本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も表示することで、住民の自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難情報の発令につながる。

■中期、中長期
出前講座、各種会議等を利用し、利活用や避難について周知啓発を行う。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	ICTを活用した防災情報の提供	宮崎地方気象台	短期	中期	中長期

- 作成した洪水浸水想定区域図データの提供。
- 洪水予報河川・水位周知河川以外の中小河川についても、浸水想定図を作成し、水害リスク情報空白域を解消していく。
- 不動産関係団体等が開催する研修会において、水害リスク情報の解説を実施していく。

不動産関係団体を対象とした研修会での水害リスク情報の解説

洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白域の解消

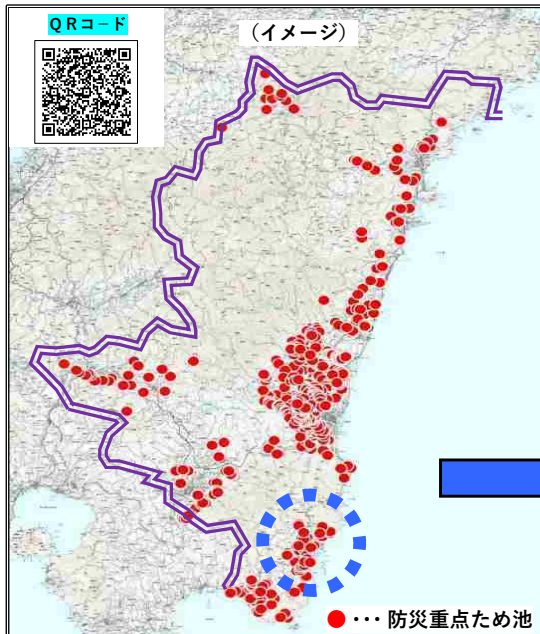


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	洪水浸水想定図の作成・データ提供等	宮崎県	▶		

- 緊急時の迅速な避難行動につなげるため、県内の防災重点ため池マップの周知を図る。
- ため池マップには、ため池名、所在地、貯水量、緊急時の連絡先等を掲載する。

【農業用ため池マップ】

農業用ため池マップの公表について

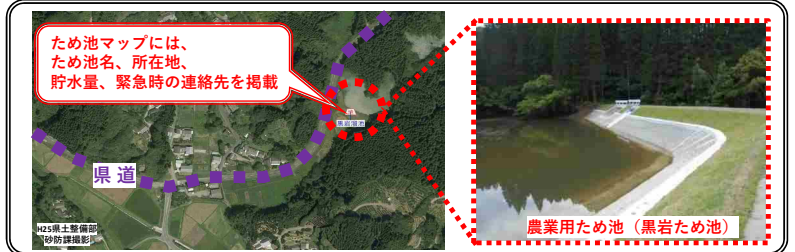


【経緯】 平成30年7月豪雨では西日本を中心に多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】 決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
657箇所	424箇所

(令和4年3月末時点)

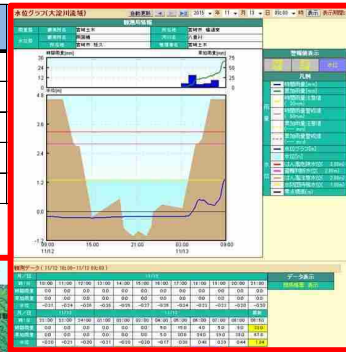


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	農業用ため池マップの周知	宮崎県	▶		

- 従来の水位計や河川監視カメラに加え、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラを増設し、きめ細やかな水位情報を提供する。
- 安定した雨量・水位情報を提供できるように観測局等の適切な維持管理を実施していく。

県が公開している
水位情報等

	広渡川流域	日南土木管内 全体
雨量計	10	13
水位計	9	12
河川監視カメラ	8	10
危機管理型水位計	7	8
簡易型河川監視カメラ	9	9



県が公開している雨量・河川水位観測情報：県のHPで公開



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供等	宮崎県			

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

・令和3年5月末現在の防災士数
 〈宮崎県〉 5,646名 (人口10万人当たり526名)
 〈全国〉 211,330名 (人口10万人当たり167名)

・防災士数の順位
 全国・・・14位 九州・・・3位 (福岡、大分に次ぐ)
 ※人口10万人比では、**全国6位**



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

(出前講座ポスター)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災・避難体制の強化	防災士の養成及び出前講座の実施	宮崎県			

○ハザードマップ等を活用した防災訓練を実施する中で、防災関係機関と自主防災組織等が連携した避難体制の整備及び要配慮者等の避難支援対策の強化を図る。



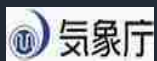
想定最大規模における浸水被害や土砂災害を想定し、自主防災組織等と連携した避難訓練を実施。(令和4年度の訓練内容)

川向地区自主防災組織、消防団、地区内の要配慮者利用施設と合同で訓練を計画し、地域住民及び要配慮者の避難のタイミング、避難経路の確認や避難支援者の検討を行った。

また、併せて災害時の基本的な知識ととるべき行動について、日南土木事務所や日南警察署に講話を実施していただき地域防災力の向上を図った。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災・避難体制の強化	総合防災訓練等の実施	日南市	→		

○自ら判断して避難できる人材育成を目的として、学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進するため、台風・豪雨から「自らの命を自ら守る」基本的な知識ととるべき行動について、他人と接触せずに学べる教材を提供。



eラーニング教材

「大雨のときにどう逃げる」

あなたの命、あなたの大切な人の命を守るため

台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学びます

【学習の流れ】 動画教材で身につけた知識を、実習や意見交換で、いざという時に使えるようにしてゆきます



アドレス : <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習・啓発の推進	eラーニングによる水防災教育の推進	気象庁	→		

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和3年度宮崎県防災の日(令和3年度は5/23)における啓発事業

- ・ 自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ・ 改正災害対策基本法による新しい避難情報についても啓発した。



(防災の日チラシ表)



(防災の日チラシ裏)

令和2年度防災週間における啓発事業

- ・ 台風シーズン前に多様な避難のあり方と避難における注意点等を啓発した。
- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、より避難の理解力向上が求められたことから、防災週間だけでなく、前倒し、8月12日からCM等を放映した。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習・啓発の推進	防災の日、防災週間における防災啓発	宮崎県			